

広島市の住宅事情

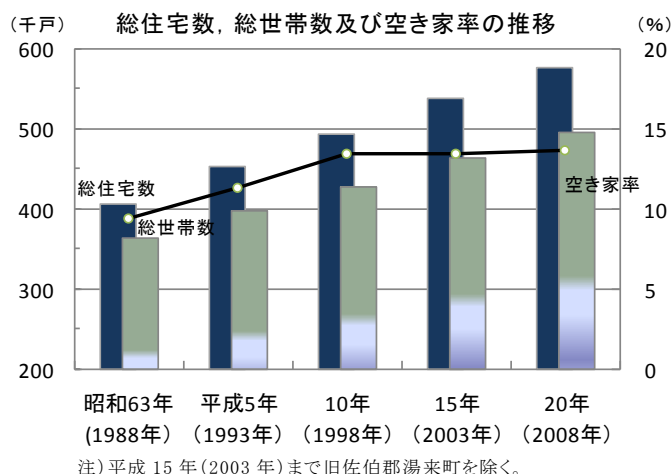
(平成20年住宅・土地統計調査結果の概要)

平成20年(2008年)10月1日現在で実施した住宅・土地統計調査について、広島市における調査結果の概要をまとめました。

1 総住宅数と総世帯数

総住宅数は57万7,190戸で、総世帯数は49万4,260世帯となっており、昭和63年の調査以降、総住宅数が総世帯数を上回っています。

また、全市の空き家数は7万8,920戸で、総住宅数に占める空き家の割合(空き家率)は、13.7%となっており、前回、前々回調査からほぼ横ばいとなっています。



2 行政区別の状況

○住宅の建て方

住宅の建て方別にみると、全市では、居住世帯のある住宅49万4,260戸のうち、共同住宅が27万2,660戸(全体の55.2%)で最も多く、一戸建が20万7,620戸(同42.0%)、長屋建が1万1,910戸(同2.4%)となっています。

区別にみると、安佐北区、安芸区、佐伯区では一戸建が過半数を占め、住宅1戸当たりの延べ面積も大きくなっています。中区では共同住宅が全体の8割を超え、南区、西区でも3分の2程度を占めています。

表1 住宅の建て方別住宅数と1戸当たり延べ面積

行政区	住宅総数 (居住世帯あり)	一戸建	長屋建	共同住宅	その他	1戸当たり 延べ面積
全市	494,260	207,620	11,910	272,660	2,080	79.50
中区	69,410	10,560	840	57,510	500	56.94
東区	48,310	22,210	1,520	24,450	130	83.81
南区	63,160	19,010	1,800	41,860	490	69.84
西区	84,620	24,590	1,460	58,280	280	70.24
安佐南区	90,050	40,730	2,520	46,420	370	83.67
安佐北区	55,600	41,160	1,390	12,950	100	103.64
安芸区	30,520	18,710	1,200	10,550	60	90.25
佐伯区	52,600	30,640	1,170	20,640	150	93.29

○住宅の所有の関係

住宅の所有の関係別にみると、全市では持ち家が25万8,350戸で、住宅全体に占める割合(持ち家住宅率)は52.3%、借家は22万9,090戸で全体の46.4%となっています。

区別にみると、安佐北区、安芸区、佐伯区などでは持ち家の比率が高く、中区、南区、西区などでは借家の比率が高くなっています。

また、持ち家に居住する世帯の割合を示す持ち家世帯率は、全市で52.1%となっており、区別では安佐北区(72.4%)、安芸区(66.4%)、佐伯区(64.5%)で高くなっています。

表2 住宅の所有の関係別住宅数

行政区	総数	持ち家	借家					持ち家世帯率(%)
				公 営 借 家	都市再生機構 ・公社借家	民 営 借 家	給 与 住 宅	
全 市	494,260	258,350	229,090	19,830	2,970	186,100	20,200	52.1
中 区	69,410	26,720	42,680	5,780	720	33,690	2,480	38.5
東 区	48,310	27,000	20,670	2,520	-	15,800	2,350	55.8
南 区	63,160	27,990	33,820	1,850	-	27,590	4,390	44.2
西 区	84,620	35,480	48,560	4,010	1,340	38,310	4,890	41.8
安佐南区	90,050	46,160	41,160	1,250	-	38,040	1,870	51.0
安佐北区	55,600	40,570	14,680	3,770	700	9,450	770	72.4
安芸区	30,520	20,400	9,680	240	200	7,070	2,170	66.4
佐伯区	52,600	34,040	17,840	400	-	16,150	1,290	64.5

注1) 総数には、住宅の所有の関係「不詳」を含む。

2) 持ち家世帯率 = (持ち家に居住する主世帯数) / (普通世帯数)

○住宅の建築の時期

住宅の建築の時期をみると、平成3年(1991年)～12年(2000年)が11万3,340戸(22.9%)、昭和56年(1981年)～平成2年(1990年)が10万5,660戸(21.4%)、昭和46年(1971年)～55年(1980年)が9万2,010戸などとなっており、昭和56年(1981年)以降の約28年間に建てられた住宅が約6割を占めています。

区別にみると、安佐南区では平成13年(2001年)以降に建てられた住宅が区全体の25.5%、平成3年(1991年)以降に建てられた住宅を合わせると54.2%と過半数を占め、比較的新しく建てられた住宅が多くなっています。安芸区、佐伯区でも平成3年(1991年)以降に建てられた住宅が半数近くを占めています。

表3 建築の時期別住宅数

行政区	総数	昭和45年 以前	昭和46年 ～55年	昭和56年 ～平成2年	平成3年 ～12年	平成13年 ～17年	平成18年 ～20年9月
		～1970	1971～1980	1981～1990	1991～2000	2001～2005	2006～2008.9
全 市	494,260	53,470	92,010	105,660	113,340	60,310	26,130
中 区	69,410	8,120	13,250	17,210	8,320	10,360	1,090
東 区	48,310	6,210	9,670	9,030	10,670	4,930	2,710
南 区	63,160	8,840	11,560	13,630	16,090	7,580	2,640
西 区	84,620	9,990	13,230	22,520	19,110	8,870	2,550
安佐南区	90,050	6,560	14,590	12,860	25,860	13,450	9,530
安佐北区	55,600	5,310	16,200	11,250	11,220	5,130	2,020
安芸区	30,520	4,280	4,440	4,950	8,060	3,010	2,710
佐伯区	52,600	4,160	9,070	14,200	14,020	6,980	2,890

注) 総数には、建築の時期「不詳」を含む。

3 その他

- この資料の数値は、平成20年(2008年)10月1日現在の市域によるものです。(平成15年(2003年)以前の結果については、旧佐伯郡湯来町分を含んでいません。)
- 標本調査による推計値であるため、10位までを有効数値としました。よって、総数とその内訳の合計は必ずしも一致しません。
- 問い合わせ先: 広島市企画総務局企画調整部
(広島市中区国泰寺町一丁目6番34号, TEL082-504-2012, FAX082-504-2029)